

景気・経済動向

(平成26年10月データ、11月アンケート調査等から)

1. 概況

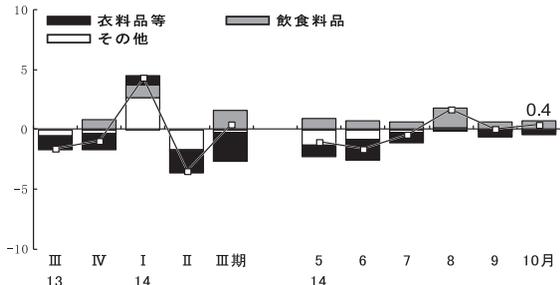
(全体) 当連合会のアンケート調査では、景況感は急速な円安の影響や個人消費の停滞、原材料価格の上昇などから大幅に悪化。先行き(2~3ヶ月先)は、持ち直しの兆し。
 (個別指標) 個人消費は一部に弱い動きがみられる。生産、雇用ともに横ばいの動き。

2. 個別指標

(1) 消費・住宅投資

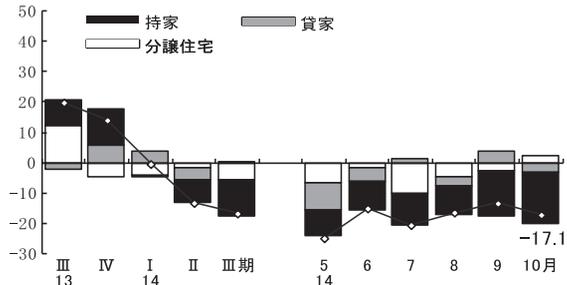
(大型小売店販売額)

対前年伸び率の品目別寄与度 (%)



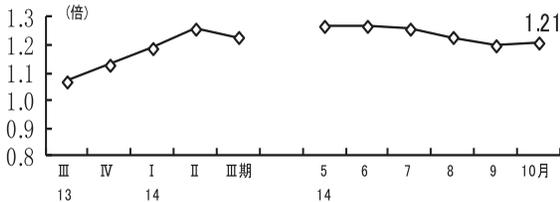
(新設住宅着工戸数)

対前年伸び率の利用関係別寄与度 (%)

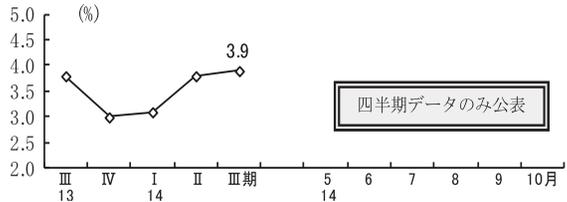


資料：経済産業省「商業販売統計月報」、国土交通省「建築着工統計調査報告」

(2) 雇用(有効求人倍率)

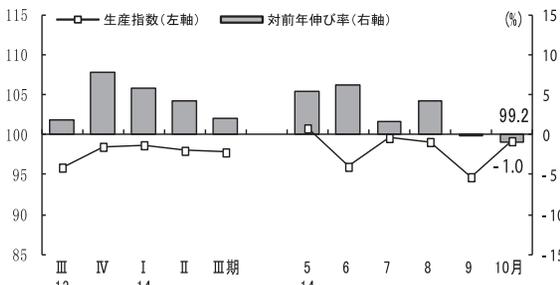


(完全失業率)

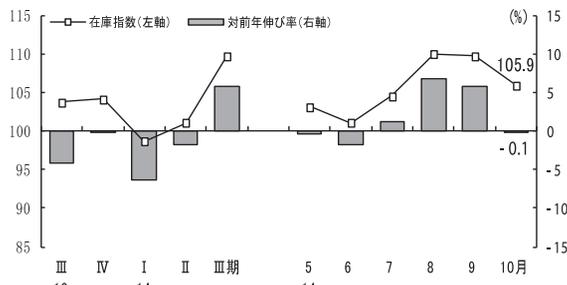


資料：厚生労働省「職業安定業務統計」、総務省「労働力調査」

(3) 生産動向(生産指数)



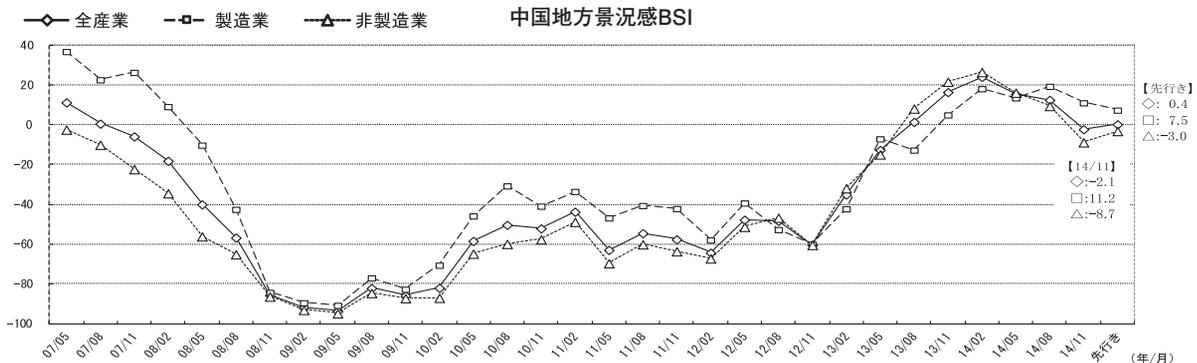
(在庫指数)



注：1.生産指数、在庫指数とも2010年=100 2.最新月は速報値

資料：中国経済産業局「鉱工業生産動向」

(4) 景況感



資料：中国経済連合会